

浜中町健康増進計画

「いきいき健康はまなか21(第二次)」

～ 健康なまちづくり 行動計画 ～

中間評価報告書

令和2年3月

北海道浜中町

—目次—

第1章 計画の概要	
1 計画の位置付け	1
2 計画の概要	1
第2章 中間評価の趣旨	
1 中間評価の目的	2
2 中間評価の方法	2
第3章 中間評価の結果	
1 健康目標値の達成状況	4
2 分野別の評価と今後の取組み	5
(1) 栄養・食生活・がん	5
(2) 運動・身体活動	7
(3) 休養・こころの健康づくり	9
(4) 歯と口腔	11
(5) たばこ	13
(6) アルコール	15
(7) 糖尿病	17
(8) 循環器病	19
<資料編>	21

1 計画の位置付け

この計画は、「健康増進法」及び「国民健康づくり対策」の趣旨に沿い、町民の健康増進施策の更なる積極的な推進を図るため、健康増進分野に特化した計画として、平成 26 年 3 月に策定されました。

計画期間は、平成 26 年度から令和 5 年度までの 10 年間とし、国や道の健康増進計画の動向を注視しながら計画を推進することになっています。

本計画は、浜中町のまちづくりの基軸となる「第 5 期浜中町新しいまちづくり総合計画（平成 22 年度～令和元年度）」との整合性を図った分野別計画として策定され、町民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むための指針となるものであるとともに、個人の健康づくりを地域・行政・学校・企業などが一体となり、社会全体で支援していくための諸活動の指針となるものです。

2 計画の概要

本計画の方向性、基本目標、重点分野については以下のとおりです。

○方向性

生活習慣及び社会環境の改善を通じて、子どもから高齢者まで全ての国民が共に支え合いながら希望や生きがいを持ち、ライフステージに応じて、健やかで心豊かに生活できる社会の実現を目指す。

○基本目標

- 1 壮年期死亡の減少
- 2 健康寿命の延伸及び生活の質の向上の実現

○重点分野

- 1 栄養・食生活
- 2 身体活動・運動
- 3 休養・こころの健康づくり
- 4 歯の健康
- 5 たばこ
- 6 アルコール
- 7 糖尿病
- 8 循環器病

第2

中間評価の趣旨

1 中間評価の目的

本計画の中間評価の目的は、計画の中間時点での目標達成状況を把握し、これまでの計画の進捗状況や施策の課題を明確化することで、今後4年間の施策の一層の推進を図るために実施するものです。

2 中間評価の方法

各目標値の中間時点での達成状況については、各種統計データや事業データを基に、平成23年計画策定時のベースライン値と現時点での直近値（現状値）を比較し、評価を行いました。

計画に定めた数値目標は、計画期間内における取り組みにより、どのくらい進捗がはかれたのかを示すため、次の基準により5段階で評価します。

① 目標値を設定した項目

$$\text{目標達成率（\%）} = \frac{\text{（中間評価時の値）} - \text{（策定時の値）}}{\text{（目標値）} - \text{（策定時の値）}} \times 100$$

② 増加・減少を目標に設定した項目

$$\text{増減率（\%）} = \frac{\text{中間評価時の値}}{\text{策定時の値}} \times 100$$

③ 現状値を目標に設定した項目

$$\text{現状維持率（\%）} = \frac{\text{中間評価時の値}}{\text{策定時の値}} \times 100$$

判定区分	① の判定基準	② の判定基準	③ の判定基準
A	目標値を達成している	増加・減少をしているといえる →増減率±10%以上	現状維持をしているといえる →増減率±0%以上 5%未満
B	目標値を達成していないが、改善傾向にある →達成率 50%以上	増加・減少に近いといえる →増減率±5%以上 10%未満	現状維持に近いといえる →増減率±5%以上 10%未満
C	改善傾向及び横ばい状況にある →達成率 49%以下	横ばい状況にある →増減率±0%以上 5%未満	横ばい状況にある →増減率±10%以上 15%未満
D	策定時より悪化している →達成率マイナス	策定時より悪化している →増減率が逆方向に向かっている	策定時より悪化している →増減率±15%以上
E	評価困難	評価困難	評価困難

第3

中間評価の結果

1 健康目標値の達成状況

(1) 全項目の達成状況

最終目標である健康寿命の延伸を達成するために設定した「みんなの目標」と、8分野 10 課題項目についての達成状況を下記のとおりまとめました。

分野	みんなの目標	主要課題	評価
1 栄養・食生活・がん	適切な栄養と食生活 ～できることから少しずつはじめよう～	肥満者の割合が高い	A
2 運動・身体活動	意識して身体を動かそう	運動している小児の割合が低い	C
3 休養・こころの健康づくり	自分なりのリラックス法を見つけよう	こころの不調を感じる人が多い	C
4 歯の健康	よくかんで おいしく食べよう	年齢とともにむし菌がある子どもが増加している	B
		壮年期以降の歯の保有率が低下している	C
5 たばこ	たばこの健康への害を知ろう	喫煙率が高い	C
6 アルコール	飲酒は適量範囲内になし 未成年者に飲酒させません	日常的な多量飲酒者が多い	C
		未成年・妊娠中の飲酒経験者が多い	A
7 糖尿病	バランスのとれた食生活で適正体重を維持しよう	肥満者の割合が多い	C
8 循環器病	血圧の適正な自己管理をしよう	血圧有所見者の割合が高い	C

評価	項目合計のうち、ABC の割合が 80%以上	A
	項目合計のうち、ABC の割合が 50%以上	B
	項目合計のうち、ABC の割合が 50%未満	C

2 分野別の評価と今後の取り組み

(1) 栄養・食生活・がん

《みんなの目標》 適切な栄養と食生活 ～できることから少しずつはじめよう～
《主要課題》 肥満者の割合が高い

指標の状況

指標項目		策定時 (H23年度)	最新 (H30年度)	目標 (R5年度)	中間評価
①成人の肥満者の割合	20～60歳代男性の肥満者	43.7%	38.0%	24.7%以下	C
	40～60歳代女性の肥満者	37.2%	36.2%	23.5%以下	C
	幼児の肥満	19.1%	11.4%	減少	A
	児童の肥満	30.1%	20.0%	減少	A
②欠食しない人の割合	男性	86.0%	88.9%	現状値より悪化させない	A
	女性	92.9%	94.3%	現状値より悪化させない	A
③特定健康診査・特定保健指導実施割合	特定健康診査受診率	24.4%	28.1%	※40.0%	C
	特定保健指導実施率	61.3%	29.5%	※60.0%	D
④がん検診の受診者の割合	胃がん	12.5%	13.2%	50.0%	C
	肺がん	14.6%	13.0%	50.0%	C
	大腸がん	10.2%	10.9%	50.0%	C
	子宮がん	7.9%	7.2%	50.0%	D
	乳がん	11.3%	16.2%	50.0%	C

※特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の目標値を、データヘルス計画との調和をはかるため見直し

健康目標値の達成状況

全指標数	評価	達成状況
13	A：4指標 B：0指標 C：7指標 D：2指標 E：0指標	<ul style="list-style-type: none"> ・働く世代及び小児の肥満割合は、男女とも減少傾向にあり、幼児と児童の肥満割合は、目標達成しています。 ・特定健診受診者を対象として評価している欠食率は、男女ともに改善傾向にあり、目標達成しています。 ・特定健診受診率は、増加傾向にありますが、特定保健指導実施率は、減少しています。 ・がん検診は、胃がん、大腸がん、乳がん受診率がわずかに増加していますが、他は減少しています。

今後の取組み

みんなの取組み

- 適正体重を維持しましょう。
- 欠食をなくしましょう。
- 主食・主菜・副菜をそろえて食べましょう。
- 生活習慣病予防のための健診を受けましょう。
- 定期的ながん検診を受けましょう。

行政・関係機関の取組み

- 成人男性の肥満については、特定保健指導を受けた方には体重減少や生活習慣の改善がみられていることから、対象者への受診券発行など、特定健診受診率を上げる取組みを行っていきます。
- 子どもの健やかな成長と健康的な食習慣の確立に向けて、母子保健事業を通して、乳幼児期からライフステージに対応した栄養指導や、保育所、学校等の関係機関と連携・協力し食育の推進強化を図ります。
- 策定時欠食率の高かった30歳未満の町民に対し、若年健診場面や母子保健事業などを通して、食事に関する意識調査や助言を行います。
- 管理栄養士による専門的な栄養指導の一環として、地元食材を使ったメニューの紹介や、親子食育講座など年齢や性別に合わせた各種講座を、今後も継続していきます。
- 今後は、肥満だけでなくやせに対する支援も必要と考えます。特に、妊婦の極端な体重増加抑制による児への影響について、母子手帳交付時に啓発と助言を行っていきます。
- 特定健診やがん検診受診率向上のため、特定の年齢に達した方への無料クーポン券配付や、健康教室などの事業を通して受診勧奨を行っていきます。
- 老人クラブを対象に、低栄養予防についての健康教育を継続して行っていきます。

(2) 運動・身体活動

《みんなの目標》 意識して身体を動かそう

《主要課題》 運動している小児の割合が低い

指標の状況

項目		策定時 (H23年度)	最新 (30年度)	目標 (R5年度)	中間評価
①運動習慣のある者の割合	男性	31.3%	26.0%	増加	D
	女性	22.6%	14.1%	増加	D
②運動習慣のある子どもものの割合	保育所年長児	88.1%	—	増加	E
	小学5年生	64.6%	60.0%	増加	D

健康目標値の達成状況

全指標数	評価	達成状況
4	A: 0 指標 B: 0 指標 C: 0 指標 D: 3 指標 E: 1 指標	・運動習慣については、評価困難だった保育所年長児を除いた全ての指標が、策定時より悪化しています。特に、成人女性が顕著に低くなっており、働く世代における運動習慣の定着が課題です。

今後の取組み

みんなの取組み

- 毎日の生活の中で意識的に身体を動かしましょう。
- 週2回以上、運動をしましょう。
- 小児期から運動の習慣をつけましょう。

行政・関係機関の取組み

- 運動習慣の定着を促進させるため、年齢や身体状況に合わせた簡単な運動方法の周知等を行っていきます。
- 幼児期・学童期から運動習慣を身につけていくことができるよう、保育所や学校、保護者と協力して、アンケート調査や健康教育などの事業を継続して行っています。

- 運動習慣は、肥満や生活習慣病の予防、高齢者の介護予防のために重要です。家庭でできる簡単な運動や、活動量と食事量のバランス等について、健康教室や特定健診・特定保健指導を通して伝えていきます。
- 小児生活習慣病健診において、保健師が対象生徒の夏休みに実施した指導内容を学校と情報共有する等、関係機関と連携して支援していきます。

(3) 休養・こころの健康づくり

《みんなの目標》 自分なりのリラックス法を見つけよう

《主要課題》 こころの不調を感じる人が多い

指標の状況

指標項目	策定時 (H23年度)	最新 (H30年度)	目標 (R5年度)	中間評価
①睡眠による休養が十分にとれている者の割合	77.5%	73.6%	増加	D
②浜中町健康医療相談ダイヤル24利用者数	—	99件	増加	E
※③地域ゲートキーパー研修会参加者延べ数	—	—	増加	E

※指標項目③は、地域ゲートキーパー研修会参加者の増加状況を把握するため、参加者延べ数に見直し

健康目標値の達成状況

全指標数	評価	達成状況
3	A:0 指標 B:0 指標 C:0 指標 D:1 指標 E:2 指標	・睡眠による休養が十分に取れている者の割合は、策定時より悪化していました。 ・ライフステージや性別に合わせたリラックス法を情報提供し、自分に合ったリラックス法を見つけられるようにしていくことが大切です。

今後の取組み

みんなの取組み

- 早寝早起きをして、正しい生活リズムで過ごしましょう。
- 自分なりのリラックス法を見つけ、気分転換の時間を持ちましょう。
- 自分が熟睡感の得られる睡眠時間を知り、その時間を確保しましょう。
- 相談できる場所を知り、活用しましょう。

行政・関係機関の取組み

- ストレスの蓄積は、うつや自殺を招く要因となるので、今後も特定健診や健康教室、電話や来所の相談を通して、ストレス解消法について紹介していきます。また、悩みを相談できる環境づくりをしていく等、「自殺対策推進計画」を推進していきます。

- うつや自殺に関する相談を受けた際は、話を受容・共感し、必要な相談、支援機関につなぐ役割を担う人材（ゲートキーパー等）が重要となります。行政機関だけでなく、関係機関、地域住民等を対象とした研修会等による人材育成を図ります。
- 庁内窓口や福祉関係機関、町内医療機関に相談窓口のチラシを設置し、各種手続き等で訪れる方々や受診される方々に対し、相談窓口の周知を図ります。

(4) 歯と口腔

《みんなの目標》 よくかんで おいしく食べよう

《主要課題》 年齢とともにむし歯がある子どもが増加している
壮年期以降の歯の保有率が低下している

指標の状況

指標項目		策定時 (H23年度)	最新 (H30年度)	目標 (R5年度)	中間評価
①歯や口の状態について満足している人の割合	40歳・50歳・60歳・70歳	—	15.0%	増加	E
②歯周疾患検診を受ける人の割合	40歳・50歳・60歳・70歳	—	6.1%	増加	E
③歯肉炎(歯肉1. 2)を有する中学生・高校生の割合	中学3年生	—	14.0%	減少	E
	高校3年生	—	23.1%	減少	E
④乳幼児期・学齢期のむし歯の減少	むし歯のない3歳児の割合	70.0%	70.0%	増加	C
	中学1年生の一人平均むし歯数	1.39本	0.54本	減少	A

健康目標値の達成状況

全指標数	評価	達成状況
6	A: 1 指標 B: 0 指標 C: 1 指標 D: 0 指標 E: 4 指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学1年生の一人平均むし歯数は減少しており、改善傾向にあります。 ・ むし歯のない3歳児の割合は、横ばい状況でした。 ・ 今後もさらなる改善を図るため、これまでの取り組みを継続していきます。

今後の取組み

みんなの取組み

- よくかんで食べましょう。
- フッ化物配合歯みがき剤を使って、ていねいに歯をみがきましょう。
- デンタルフロスや歯間ブラシ等を使って、歯と歯の間もきれいにしましょう。
- 入れ歯は、毎食後みがきましょう。

○間食の時間・回数を決めましょう。

○定期的に歯科健診を受けましょう。

行政・関係機関の取組み

○むし歯や歯周疾患を予防するために、歯みがきの習慣化と合わせて、デンタルフロス等の歯間部清掃用具の使用を推奨していきます。

○保育所及び小学校においてフッ化物洗口事業を行います。

○むし歯の有病者減少に加え、肥満や生活習慣病を予防するために、甘味食品・飲料の摂取目安や多量摂取の危険性等について、乳幼児健診やむし歯予防教室を通して、今後も周知していきます。特に、間食習慣が乱れやすい時期である乳幼児健診を終えた幼児については、保育所を通して、間食習慣の調査や必要時助言を行います。

○食生活の貧困さが間食の回数や量の増加につながっている場合もあるので、食生活全般について情報収集し、家庭環境や保護者の状況に合わせた指導や助言を行います。

○特定の年齢に達した方を対象に歯周疾患検診を実施し、歯周病予防及び歯の喪失予防対策を実施します。

(5) たばこ

《みんなの目標》 たばこの健康への害を知ろう

《主要課題》 喫煙率が高い

指標の状況

指標項目		策定時 (H23年度)	最新 (H30年度)	目標 (R5年度)	中間評価
①喫煙率	40歳～74歳男性	32.8%	36.5%	※減少	D
	40歳～74歳女性	10.0%	10.6%	減少	D
②妊婦の喫煙率	マタニティアンケート回答者	11.5%	2.2%	0%	B

※①喫煙率の目標値は、実情を踏まえ、最大限の努力により達成できるよう見直し

健康目標値の達成状況

全指標数	評価	達成状況
3	A: 0 指標 B: 1 指標 C: 0 指標 D: 2 指標 E: 0 指標	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦の喫煙率は、減少傾向にありますが、40歳～74歳は、増加傾向にあります。特に、男性の喫煙率の増加が著しい状況です。 ・今後も妊婦の喫煙をなくすための働きかけや、働く世代の禁煙サポートを推進していきます。

今後の取り組み

みんなの取組み

- 喫煙の健康に及ぼす害や COPD（慢性閉塞性肺疾患）について、知識を持ちましょう。
- 知識を持って禁煙に努めましょう。
- 子どもに喫煙の健康に及ぼす害を伝え、たばこ（燃焼・非燃焼・加熱式たばこ）を吸わないように教えましょう。
- 子どもや妊産婦の前では、禁煙しましょう。

行政・関係機関の取組み

- 健診場面や特定保健指導を通して、喫煙が招く危険性を伝えるとともに、禁煙希望

者が支援を受けられるような取り組みを継続していきます。

- 喫煙が唯一のストレス解消法となっている場合があるので、3) 休養・こころの健康づくりと関連づけた相談事業等を行います。
- 妊婦については母子手帳交付時に、産婦については赤ちゃん訪問時に、禁煙指導を継続して行っていきます。合わせて受動喫煙の害についても、同居家族の禁煙を進めていきます。
- 未成年者については、今後も学校と協力しながら健康教育を行い、未成年や妊婦の喫煙の害について伝えていきます。
- 新型たばこ（電子及び加熱式たばこ）は、従来のたばこより健康リスクが少ないと誤認され急速な広がりをみせています。動脈硬化や心臓病の原因となる血管内皮機能障害を従来のたばこと同程度にもたらすことや、煙が見えにくく、臭いもわずかなため、副流煙のリスクについてもあわせて周知していきます。
- 健康増進法の一部改正に基づき、健康教育、広報等を通して、禁煙や分煙、節煙の普及啓発を行い、受動喫煙の防止対策を進めていきます。

(6) アルコール

《みんなの目標》	飲酒は適量範囲内にしよう 未成年者に飲酒はさせません
《主要課題》	日常的な多量飲酒者が多い 未成年・妊娠中の飲酒経験者が多い

指標の状況

指標		実績値 (H23年度)	現状 (H30年度)	目標 (R5年度)	中間評価
①多量飲酒(1日飲酒量3合以上)の人の割合	40歳～74歳男性	3.8%	8.2%	減少	D
	40歳～74歳女性	0.3%	0.9%	※減少	D
②未成年者の飲酒の割合	高校3年生男子	66.7%	5.6%	0%	B
	高校3年生女子	36.8%	0%	0%	A
③妊娠中の飲酒者の割合	新生児保護者	5.8%	0%	0%	A

①多量飲酒（1日飲酒量3合以上）の人の割合 40歳～74歳女性の目標値を、実情を踏まえ、最大限の努力により達成できるよう見直し

健康目標値の達成状況

全指標数	評価	達成状況
5	A: 2指標 B: 1指標 C: 0指標 D: 2指標 E: 0指標	<ul style="list-style-type: none"> 未成年者の女子の飲酒の割合と妊娠中の飲酒者の割合は、目標値に達成しています。 特定健診受診者（40歳～74歳）のうち多量飲酒者の割合は、男女とも増加しています。生活習慣病は、多量飲酒によるリスクが高いことから、多量飲酒者の低減に向けて努力が必要です。

今後の取り組み

みんなの取り組み

- 未成年者に、飲酒をさせないようにしましょう。
- 飲酒は、適量範囲内にし、休肝日を作りましょう。

○妊娠中・授乳中の飲酒の害を理解し、妊娠中・授乳中は飲酒を止めましょう。

○健康を損なう依存につながるアルコールについて正しい知識を得ましょう。

行政・関係機関の取り組み

○飲酒の害や適量について、特定健診場面や特定保健指導、健康教育、広報等を通して、住民への周知を継続していきます。

○飲酒が唯一のストレス解消法となっている場合があるので、3) 休養・こころの健康づくりのストレス対策と関連づけた相談事業等を行います。

○未成年者については、学校や関係機関と連携を図り、今後も引き続き健康教育を行います。特に、妊娠期を含めた飲酒の害について周知していきます。

○妊婦については、母子手帳交付時に、妊娠中の飲酒による胎児への害について伝えていきます。また、母乳栄養期間中の飲酒の害についても、母子手帳交付時や赤ちゃん訪問時に伝えていきます。

(7) 糖尿病

《みんなの目標》 バランスのとれた食生活で適正体重を維持しよう

《主要課題》 肥満者の割合が多い

指標の状況

指標		策定時 (H23年度)	最新 (H30年度)	最新 (R5年度)	中間評価
①合併症(糖尿病腎症による年間新規導入患者数)の人数	国保・後期高齢者	1人	0人	0人	A
②メタボ該当者及び予備群の割合	メタボ該当者	5.6%	14.4%	4.1%以下	D
	メタボ予備群	10.9%	12.9%	9.5%以下	D
③特定健康診査・特定保健指導実施割合(再掲)	特定健康診査受診率	24.4%	28.1%	※40.0%	B
	特定保健指導実施率	61.3%	29.5%	※60.0%	D

※特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の目標値を、データヘルス計画との調和をはかるため見直し

健康目標値の達成状況

全指標数	評価	達成状況
5	A:1指標 B:1指標 C:0指標 D:3指標 E:0指標	・糖尿病腎症による年間新規導入患者数はいませんでした が、特定健診受診者のうちメタボ該当者及び予備群の割合 が増加傾向にあります。

今後の取組み

みんなの取組み

- 健康診査結果の異常や通院の必要性を前向きにとらえ、改善に向けて取り組みましょう。
- 健康診査結果において、要医療の判定や異常が発見された場合には、早期に医療機関を受診しましょう。
- 生活の中に運動を積極的に取り入れましょう。

行政・関係機関の取組み

- メタボ・メタボ予備群の増加に伴い、糖尿病の発症が増えることが予想されるため、
1) 栄養・食生活・がんと関連づけて、肥満の予防・改善へ向けた取り組みを継続していきます。
- 男性の成人肥満や血糖値有所見者、糖尿病に起因する死亡が多いことから、男性を対象にした保健指導や健康教育等の取り組みを行います。
- 糖尿病治療中で、定期的に病院を受診している方も、希望があれば個別指導を行います。
- 実態把握と必要な事業を見極めるため、特定健診での血糖値有所見者や糖尿病患者の推移、糖尿病が危険因子となる脳血管疾患や透析患者の原因疾患などについて、継続的なデータ分析を行います。
- 特定健診受診率・保健指導の実施率を向上させるため、特定の年齢に達した方への無料クーポン券配布や対象者全員への受診券発行、対象者の職業や生活スタイルに合わせた介入等を行います。
- 特定健診検査項目に町独自に必須項目としてクレアチニン、尿酸、eGFR(推算子球濾過量)を加えて、腎疾患早期発見・早期治療につなげます。

(8) 循環器病

《みんなの目標》 血圧の適正な自己管理をしよう

《主要課題》 血圧有所見者の割合が高い

指標の状況

指標		策定時 (H23年度)	現状 (H30年度)	目標 (R5年度)	中間評価
①高血圧(収縮期血圧 130以上)の人の割合	40～74歳男性	30.6%	50.8%	27.0%以下	D
	40～74歳女性	27.4%	40.2%	24.0%以下	D
②メタボ該当者及び予 備群の割合(再掲)	メタボ該当者	5.6%	14.5%	4.1%以下	D
	メタボ予備群	10.9%	12.9%	9.5%以下	D
③特定健康診査・特定 保健指導実施割合(再 掲)	特定健康診査受診率	24.4%	28.1%	※40.0%	C
	特定保健指導実施率	61.3%	29.5%	※60.0%	D

※特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の目標値を、データヘルス計画との調和をはかるため見直し

健康目標値の達成状況

全指標数	評価	達成状況
6	A: 0 指標 B: 0 指標 C: 1 指標 D: 5 指標 E: 0 指標	・特定健診受診者に占める高血圧の人の割合は、増加傾向にあります。

今後の取り組み

みんなの取り組み

- 血圧測定のを機会を増やしましょう。
- 高血圧予防を学び、血圧コントロールに努めましょう。

行政・関係機関の取り組み

- メタボ・メタボ予備群の増加に伴い、高血圧の方が増えていることが予想されるた

め、減塩や禁煙、肥満予防の必要性等について、今後も健康教育や特定健診・保健指導等を通して伝えていきます。

- 特定健診受診率・保健指導の実施率を向上させるため、高血圧だけではなく、脂質異常症や高血糖の予防に関する健康教育等も継続して行っていきます。

資料編

1 中間評価に伴う指標項目一覧

項目	対象者			新目標値	旧目標値	データソース
	策定時 (H23年度)	現状 (H30年度)	目標 (R5年度)			
(1)栄養・食生活・がん						
①成人の肥満者の割合						
・20～60歳代男性の肥満者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	24.7%以下	24.7%以下	KDB帳票 様式5-2 健診所見者状況
・40～60歳代女性の肥満者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	23.5%以下	23.5%以下	KDB帳票 様式5-2 健診所見者状況
・幼児の肥満	保育所年長児	保育所年長児	保育所年長児	減少	減少	保育所児生活習慣アンケート 結果
・児童の肥満	小学5年生	小学5年生	小学5年生	減少	減少	小児生活習慣病健診結果
②欠食しない人の割合						
・男性	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	現状値より悪化させない	現状値より悪化させない	法定報告
・女性	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	現状値より悪化させない	現状値より悪化させない	法定報告
③特定健康診査・特定保健指導実施割合	特定健康診査受診者 特定保健指導実施者	特定健康診査受診者 特定保健指導実施者	特定健康診査受診者 特定保健指導実施者	40.0% 60.0%	60.0% 現状維持	法定報告 法定報告
④がん検診の受診者の割合	がん検診受診者	がん検診受診者	がん検診受診者	50.0%	50.0%	地域保健・健康増進事業報告
(2)運動・身体活動						
①運動習慣のある者の割合						
・男性	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	増加	増加	法定報告
・女性	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	増加	増加	法定報告
②運動習慣のある子どもの割合	保育所年長児 小学5年生	— 小学5年生	— 小学5年生	増加 増加	増加 増加	保育所児生活習慣アンケート 結果 小児生活習慣病健診結果
(3)休養・こころの健康づくり						
①睡眠による休養が十分にとれている者の割合	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	増加	増加	法定報告
②浜中町健康医療相談ダイヤル24利用者数	—	一般住民	一般住民	増加	増加	相談件数
③地域ゲートキーパー研修会参加者延べ数	—	—	一般住民	増加	増加	地域ゲートキーパー研修会

項目	対象者			新目標値	旧目標値	データソース
	策定時 (H23年度)	現状 (H30年度)	目標 (R5年度)			
(4)歯と口腔						
①歯や口の状態について満足している人の割合 ・40・50・60・70歳	—	成人歯周疾患検診受診者	成人歯周疾患検診受診者	増加	増加	成人歯周疾患検診結果
②歯周疾患検診を受ける人の割合 ・40・50・60・70歳	—	成人歯周疾患検診受診者	成人歯周疾患検診受診者	増加	増加	成人歯周疾患検診結果
③歯肉炎(歯肉1.2)を有する中学生・高校生の割合	— —	中学3年生 高校3年生	中学3年生 高校3年生	減少 減少	減少 減少	学校歯科検診結果 学校歯科検診結果
④乳幼児期・学童期のむし歯の減少	3歳児 中学1年生	3歳児 中学1年生	3歳児 中学1年生	増加 減少	増加 減少	3歳児健康診査結果 学校歯科検診結果
(5) たばこ						
①喫煙率 ・40～74歳代男性 ・40～74歳代女性	特定健康診査受診者 特定健康診査受診者	特定健康診査受診者 特定健康診査受診者	特定健康診査受診者 特定健康診査受診者	減少 減少	12.0% 以下 減少	法定報告 法定報告
②妊婦の喫煙率	マタニティアンケート回答者	マタニティアンケート回答者	マタニティアンケート回答者	0%	0%	マタニティアンケート結果
(6)アルコール						
①多量飲酒(1日飲酒量3合以上)の人の割合 ・40歳～74歳男性 ・40歳～74歳女性	特定健康診査受診者 特定健康診査受診者	特定健康診査受診者 特定健康診査受診者	特定健康診査受診者 特定健康診査受診者	減少 減少	減少 0%	法定報告 法定報告
②未成年者の飲酒の割合 ・高校3年生男子 ・高校3年生女子	高校3年生 高校3年生	高校3年生 高校3年生	高校3年生 高校3年生	0% 0%	0% 0%	高校生食生活アンケート結果 高校生食生活アンケート結果
③妊娠中の飲酒者の割合	新生児保護者	新生児保護者	新生児保護者	0%	0%	赤ちゃん(産婦)訪問
(7)糖尿病						
①合併症(糖尿病腎症による年間新規導入患者数)の人数	国民健康保険加入者・後期高齢者	国民健康保険加入者・後期高齢者	国民健康保険加入者・後期高齢者	0人	0人	自立支援受給者証新規申請者数
②メタボ該当者及び予備軍の割合 ・メタボ該当者 ・メタボ予備群	特定健康診査受診者 特定健康診査受診者	特定健康診査受診者 特定健康診査受診者	特定健康診査受診者 特定健康診査受診者	4.1% 以下 9.5% 以下	4.1% 9.5%	法定報告 法定報告
③特定健康診査・特定保健指導実施割合(再掲)	特定健康診査受診者 特定保健指導実施者	特定健康診査受診者 特定保健指導実施者	特定健康診査受診者 特定保健指導実施者	40.0% 60.0%	60.0% 現状維持	法定報告 法定報告

項目	対象者			新目標値	旧目標値	データソース
	策定時 (H23年度)	現状 (H30年度)	目標 (R5年度)			
(8)循環器病						
①高血圧(収縮期血圧 130 以上)の人の割合						
・40～74 歳代男性	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	27.0% 以下	27.0% 以下	KDB 帳票 様式 5-2 健診有所見者状況 KDB 帳票 様式 5-2 健診有所見者状況
・40～74 歳代女性	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	24.0% 以下	24.0% 以下	
②メタボ該当者及び予備軍の割合(再掲)						
・メタボ該当者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	4.1% 以下	4.1%	法定報告
・メタボ予備群	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	9.5% 以下	9.5%	法定報告
③特定健康診査・特定保健指導実施割合(再掲)						
	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者	40.0%	60.0%	法定報告
	特定保健指導実施者	特定保健指導実施者	特定保健指導実施者	60.0%	現状維持	法定報告

浜中町健康増進計画
「いきいき健康はまなか21（第二次）」
中間報告

令和2年3月発行

発行：北海道浜中町福祉保健課

北海道厚岸郡浜中町霧多布東3条1丁目
〒088-1513 TEL (0153) 62-2111